



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立新琴似北中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

- 読書を通して豊かな人間性と情操、創造性を育む。
- 読書指導の拠点として読書習慣づくりを促進する。

今年度から図書委員会の取り組みとして「図書委員のおすすめ本」コーナーを常設しています。おすすめ本と図書委員がそれぞれ作成したPOPを展示しています。

各学期、学級文庫として12冊貸出していますが、今年度は学級文庫に入れる本の希望もかなえられるようリクエストを取っています。

昼休みの利用が学年別から全学年利用になりました。利用人数は大幅に増えました。



学習センターとしての機能

- 主体的な学習活動を支える。
- 授業の内容を豊かにして学習を深める。

1学期には家庭科の「絵本の調べ学習」の利用がありました。札幌市の図書館から団体貸出でたくさんの絵本をお借りして、実際に声を出して読んでみることで読み聞かせに向く本とそうではないものがあることを体験していたそうです。

2学期には総合的な学習の時間の「仕事調べ」で図書館資料を活用してもらいました。クラスルーム新北 Library では調べ学習で参考にしてほしいサイトの紹介もしています。クロムブックでの本の検索機能の案内もできました。



情報センターとしての機能

- 情報の収集・選択・活用能力・発信する力を育成する。
- 子どもや教職員の情報ニーズに対応する。

札幌市中央図書館から「海獣」「ヒグマ」のトランクキットをお借りして展示しました。

今年度も引き続き朝日新聞の記事をテーマごとに収集してファイルにまとめています。（各テーマの新聞見出しはクラスルーム新北 Library で検索できるようになっています。）今年はニュース、新聞記事でクマ出没が数多く扱われています。クマよけのスプレーやクマよけの鈴に関心が集まっていました。

